



1. 第7回 BA 運営委員会の開催

4月28日に国際核融合エネルギー研究センター管理研究棟において、第7回 BA 運営委員会が開催された(図1参照)。欧州からは、キンタナ・トリアス欧州委員会研究総局エネルギー局長(団長)を含め委員4名と専門家5名、日本側は千原由幸文科省研究開発局戦略官(団長)を含め委員4名と専門家8名、これと各事業長、事業委員会議長、特別作業グループ議長および青森県並びに六ヶ所村の関係者が参加した。本会合では、3つの事業の進捗が報告され、2009年の年次報告が承認された。特に、国際核融合エネルギー研究センター施設がスケジュール通りに完成し、2011年に据え付けられ2012年からの運転開始が期待されている高性能計算機(スパコン)等の重要な設備を設置するための準備が整ったこと、原型炉の研究開発のための施設や IFMIF 原型加速器の試験を行うための施設が完成したこと、また、サテライト・トカマク計画の真空容器の試作品の開発が成功し製作が開始されたことなどの進捗が確認された。また、青森県および六ヶ所村から提供されている生活支援、特に欧州からの専門家の子弟のために提供されている国際学校と4月に完成した新しい校舎に対して改めて感謝の意が表明された。次回は、2010年12月15日にマドリッド(スペイン)で開催される予定である。

2. 高性能計算機(スパコン)の調達取り決めに署名

原子力機構は、BA活動の欧州側実施機関である「ITER及び核融合エネルギー研究のための欧州共同事業体(Fusion for Energy)」と、BA活動の一環である「国際核融合エネルギー研究センター(IFERC)事業」のための高性能計算機(スパコン)導入における技術的仕様と調達スケジュールについて正式に合意し、4月28日に調達取り決めに署名した。今回の調達取決めは、核融合研究開発のため

の専用高性能計算機(スパコン)の設置と運転で、欧州は高性能計算機(スパコン)を2011年末までに調達し、国際核融合エネルギー研究センターに設置した後、2012年初頭から2016年末までの5年間にわたり運転するという内容になっている。調印式は第7回 BA 運営委員会の開催中に行われた(図2参照)。

3. 国際核融合エネルギー研究センター施設完成記念式典開催

4月27日に国際核融合エネルギー研究センター施設完成記念式典が、原子力機構の主催で六ヶ所村文化交流プラザ「スワニー」において開催された。施設完成記念式典に先だって六ヶ所 BA サイトにおいて3研究施設の見学会を開催し、約250人が見学に訪れ盛況であった。

六ヶ所村文化交流プラザ「スワニー」で行われた完成記念式典においては、坂田文部科学省事務次官、三村青森県知事、古川六ヶ所村長、等を初めとして400人以上の参加者があり、池田 ITER 機構長とのテレビ会議討論、有馬日本科学学術振興財団会長のビデオレター、御手洗経団連会長からのお祝いメッセージ披露なども行われ、その後の懇親会を含め盛会のうちに終了した。

(日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門)



図1 第7回 BA 運営委員会。
(平成22年4月28日、国際核融合エネルギー研究センターにて)



図2 スーパーコンピュータの調達取り決め。
(平成22年4月28日、国際核融合エネルギー研究センターにて)



図3 国際核融合エネルギー研究センター施設完成記念式典。
(平成22年4月27日、六ヶ所村文化交流プラザ「スワニー」にて)